

道づくりのテーマと施策

テーマ2

地域の魅力・活力を高める道づくり

訪れやすく、暮らしやすい島根の実現を目指します

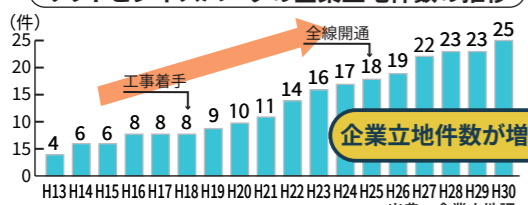
広域ネットワークを形成する道路網の整備や、地域課題を解決する道づくりを進めます

現状と課題

これまでの道路整備により、一定の効果が現れています

● 地域高規格道路の整備(松江だんだん道路/松江市)

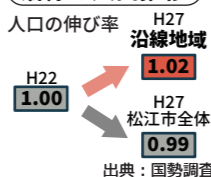
ソフトビジネスパークの企業立地件数の推移



企業立地件数が増加



沿線の人口推移



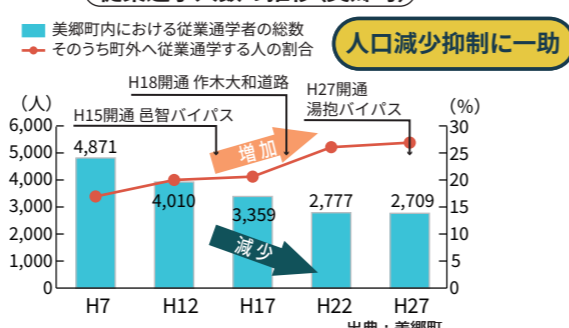
沿線人口が増加

● 幹線道路の整備(国道375号/美郷町)



通勤・通学圏域が拡大

従業通学人数の推移(美郷町)



人口減少抑制に一助

● 生活関連道路の整備(主)浜田作木線/邑南町

交通難所の解消により、定期路線バスが新たに運行開始



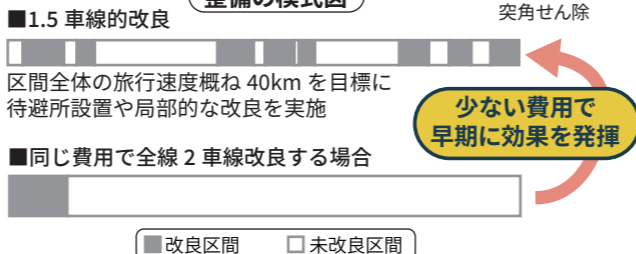
迅速な救急搬送が可能に
通勤・通学や通院の利便性も向上



● 1.5車線の改良整備(国道184号/飯南町)



整備の模式図



● しかし、まだまだ道路整備は必要です



● 通行に支障のある道路の例



(主)玉湯吾妻山線(雲南市)

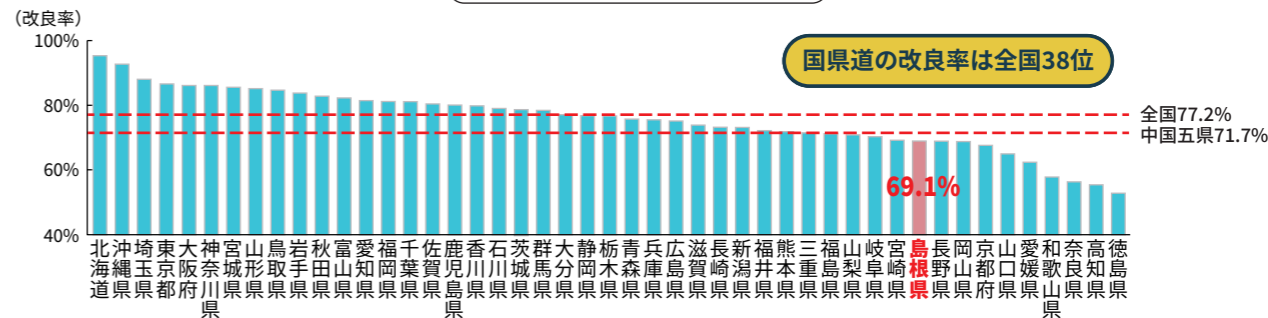


国道488号(益田市)



国道432号(松江市)

国都道府県道の改良率(H30.4.1)



国県道の改良率は全国38位

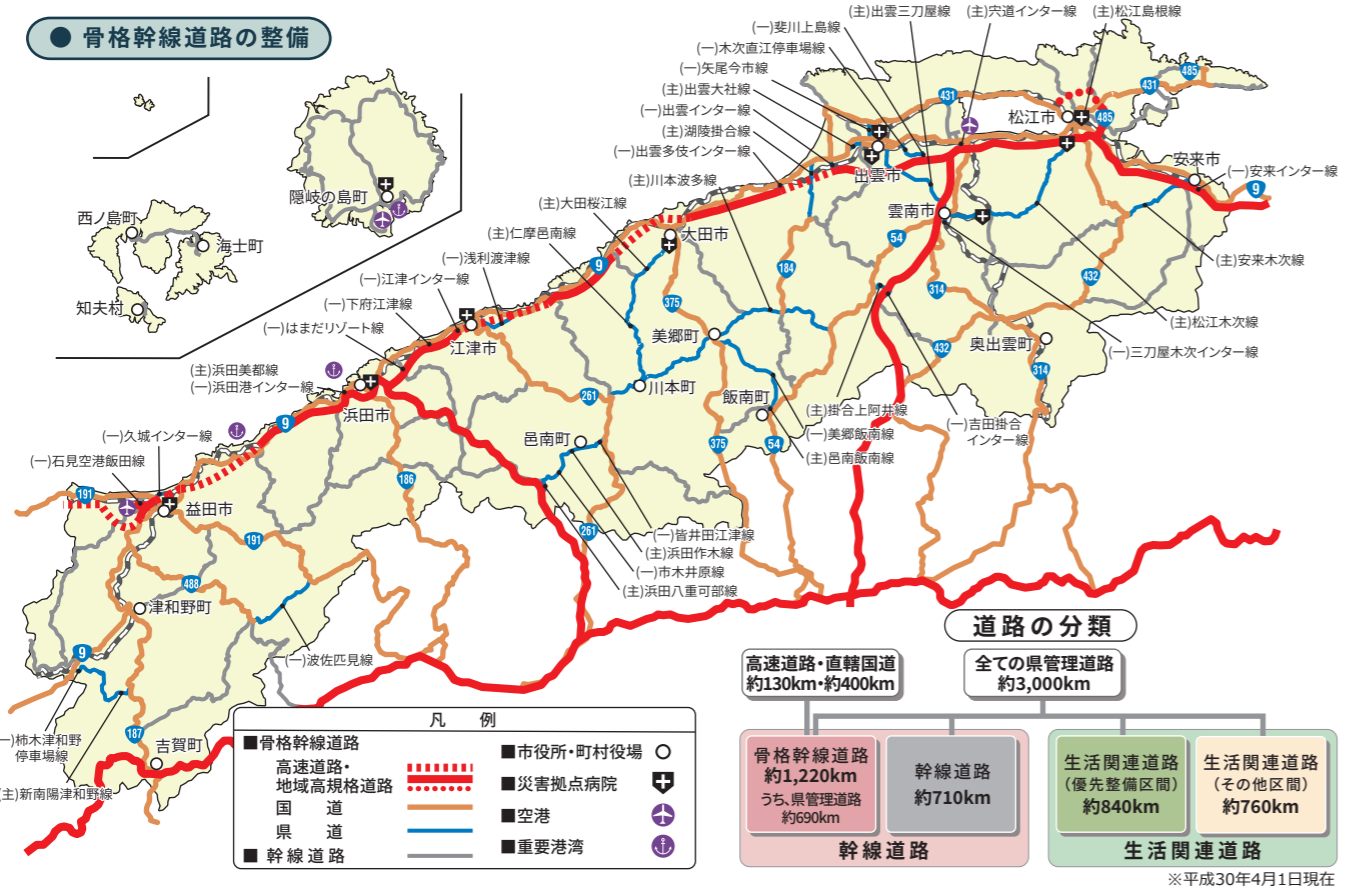
全国77.2%
中国五県71.7%

出典：道路統計年報

道づくりのテーマと施策

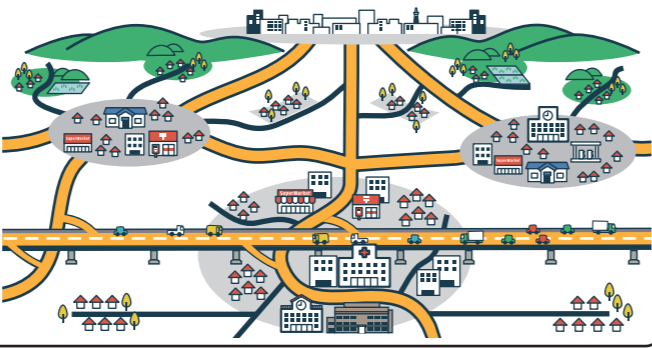
施策 2-1 高速道路と一体となり県土を支える骨格幹線道路ネットワークの整備

・高速道路整備によるストック効果を早期に県内に波及させるとともに、災害時や緊急時の輸送路として重要な役割を担う道路を『骨格幹線道路』に位置づけ、優先的に整備します



骨格幹線道路の定義

- ① 全国の高速道路網と一体となってネットワークを形成する国県道
- ② 県内外の都市間を連絡し、県内の道路網の骨格機能を有する国道
- ③ ①,②が担っている路線の役割を代替・補完する主要な県道
- ④ 隣接する市町村の中心部を連絡する主要な県道
- ⑤ 市町村中心部とICを連絡する主要な県道



幹線道路の定義

- ① 東西に縦貫し地域の連携を強化する主要な県道
- ② 各地域と生活圏中心都市を連絡する主要な県道等
- ③ 広域的な観光ルートを形成する主要な県道

生活関連道路(優先整備区間)の定義

- ① 一定規模(概ね50戸以上)の集落から、幹線道路や市町村中心部を連絡する県道
- ② 幹線道路を補完しネットワークを形成する県道(交通量が比較的多い区間)

整備のイメージ



施策 2-2 住みよく、魅力あふれる地域づくりを支援する道路の整備

・地域の魅力・活力向上や小さな拠点づくりなど地域の課題解決に寄与する道路や、生活に密着する道路について、効率的・効果的に誰もが安全・快適に利用できる道路空間の構築に努めます

・コンパクトなまちづくりや、歴史文化・景観などの地域資源を活かした魅力あるまちづくりと連携しながら、道路事業を進めます

・地域住民はもとより、観光客や外国人にとっても魅力的で多機能な拠点となる道の駅や、多様な方々が目的地までスムーズに移動できるよう、わかりやすい案内表示の整備を進めます

安全で快適な道路空間の整備



人と車が共存する道路空間の整備



観光客や外国人に優しい道路空間の整備



美しい街並みの形成



地域振興や防災等の拠点となる道の駅の整備



中長期的な道路整備に向けた検討

新たな課題の解決や社会情勢の変化に対応し、20~30年後の島根県を見据えた道路ネットワークについて検討します。

目指す10年後の姿

指標名	現 状(R1)※1	目 標(R6)	目 標(R11)
骨格幹線道路の改良率※2	96%	97%	100%
幹線道路・生活関連道路(優先整備区間)の改良率※2※3	77%	79%	82%

※1 年度当初の実績値
 ※2 改良率とは、対象となる道路のうち車道幅員5.5m(2車線)以上の割合
 ※3 1.5車線的改良済み区間を含む